

第一回説明会記録

日時：平成 25 年 1 月 18 日（金） 19:00 から

場所：家庭センター

説明者：区民活動推進部 鈴木部長、文化振興課 渡辺課長

開設担当 齋藤担当 宮澤担当

総務部営繕課 萩原課長 島田担当 中山担当

妹島和世事務所 池田担当

1 開会、進行説明、区出席者紹介

- (1) 本日の説明会は中高層紛争予防条例に基づく説明会である。
- (2) 開発指導要綱に基づく地域団体への説明会はあらためて開催する。
- (3) 説明会対象者を説明
- (4) 区出席者の紹介

2 挨拶（区民活動推進部 鈴木部長）

3 事業計画の説明（渡辺課長）

- (1) 配布資料の「すみだ北斎美術館の事業計画」により説明

4 建築計画の説明（島田担当）

- (1) 配布資料の「建築計画説明書」により説明
- (2) 工事施工業者が決定後（本年 10 月中旬）に工事説明会を開催する。
- (3) 工事説明会で工法、安全対策等を説明する。

5 質疑

- (0 1) 「以前の計画では東側道路の向かいにあるテニスコートを美術館利用者の駐車場に計画していたが？」

今までとおり、テニスコートとして使用する。駐輪場をご指摘のテニスコート敷地内に確保する。駐車場については近隣の区有地等をあてることを検討している。

- (0 2) 「工事車両の駐車場および資材置場はどのように考えるか？」

工事施工業者が決定後、工事説明会にて説明する。

- (0 3) 「祭礼の際は緑町公園を使用しているが、今までのように緑町公園を使用できるのか？」

今までとおり、使用できる。

(04) 「敷地の境界について塀等の計画はあるのか？」

北側の緑町公園との敷地境界に沿って植栽等を考えている。公園を通らないで道路から美術館へ入るよう考えている。

東、南、西の道路境界については何も設けない。自由に入れる。」

(05) 「外壁について、外観イメージ図では周囲の建物を映し出しているように見えるが、太陽の光を反射して周囲の住民に迷惑をかけないか？周辺通行車両の運転に支障をきたさないか？」

外壁はアルミパネルをを考えている。建物を分割して見える工夫をし、ゆるやかに周囲の風景を映し出し、周辺への圧迫感を軽減させる。アルミパネルの表面仕上については反射を抑えたものを検討しており、太陽の反射についてはチェックを充分におこなう。」

(06) 「緑町公園にある遊具はどうなるのか？」

遊具は現状のままとし、公園の形状はいじらない。」

(07) 「工事期間について短くはないか？」

通常の工期と考える。

(08) 「工事期間が事業計画書と建築計画説明書とで食い違いがあるが？」

平成26年11月までに建築工事を完了し、以後平成27年2月まで展示工事をおこなう。

(09) 「年間どのくらいの利用者を考えているのか？収支は赤字ではないか？」

平均年間12万人の利用者を想定している。ちなみに江戸博は年間100万人を越える。利用者からの収入で支出をまかなうことはできない。公立の美術館の役目を考え、民間の施設でできないことをおこなう。町の活性化、文化事業の視点からも美術館建設の目的と効果を考えたい。だからと言って建物運営が赤字たれ流しではいけないので、利用者を増やす工夫を考える。建物の運営については指定管理を考えている。

(10) 「利用者を増やすためにも駐車場がないのはいかがなものか？」

個人利用の駐車場は近隣のコインパーキング等の利用とし、バス駐車場については江戸博の駐車場利用や近隣の区有地に確保することを検討中である。

6 閉会挨拶（渡辺課長）

## 第二回説明会記録

日時：平成 25 年 1 月 19 日（土） 10:00 から

場所：家庭センター

説明者：区民活動推進部 鈴木部長、文化振興課 渡辺課長

開設担当 齋藤担当 宮澤担当

総務部営繕課 萩原課長 島田担当 中山担当

妹島和世事務所 池田担当

1 から 4 については前日の説明会と同様

### 5 質疑

(1 1) 「美術館建設にかかる費用はいくらか？その金額の捻出は？」

18 億 2 千万円を考えている。建物、展示をふくめ総額約 25 億円を考えている。このうち国から 40%、都から 48%、区の負担は 12%である。  
今まで使った金額は設計料等で 12900 万円使った。

(1 2) 「外から内部が見えない閉鎖的な建物に見えるが？」

主に版画を展示する施設である。作品保護のため外光を抑え、空調環境を整える必要がある。

(1 3) 「外から見えずに良いのか？圧迫感を感じるが？」

建物のボリュームを抑えて見せるため周囲の風景を柔らかく写し込む工夫をしている。建物の施設として外光の調整が必要である。外壁に効果的に窓を設け、自分の位置がわかり内と外の関係がわかるように考えた。

(1 4) 「外観が周辺と調和していないのでは？長野小布施の北斎の建物は周囲に調和しているように感じられるが？」

周辺の建物に合わせるよう建物のボリュームの圧迫感を減らし、建物を小さく見せる工夫をしている。建物周囲は開放的な外構計画を考えている。

(1 5) 「緑町公園に東日本大震災の際には、周辺の住民が集まってきたが、公園はどのようなになるのか？」

緑町公園は亀沢 2 丁目町会の一時集合場所である。公園は現状のままとする。

(1 6) 「ハコモノをつくって財政的に維持できるのか？」

できるだけお金のかからない工夫をする。美術館だけの収支で考えるの

ではなく、地域の活性化、町の賑わいを取り戻すことも、今回の建設計画の目的である。

(17)「外観の仕上について日光の反射の懸念はないか？」

材料はアルミパネルを考えるが、反射についてはサンプルで実験調査を行い、周辺建物等に配慮する。

(18)「総武線ガード下で営業するが、店舗への影響、配慮について？」

美術館内にカフェ、レストランは設置しない。近隣店舗等についてチラシ等で入館者へPRする。

(19)「喫煙スペースは建物内にあるか？」

建物内には喫煙スペースは設けない。建物周辺は路上喫煙は禁止されているので、建物外部に喫煙場所を考える。

(20)「建物の見え方について、総武線の電車からのどのように見えるかが大切ではないか？」

建物の外観については東西南北とも正面と考え、裏側をつくらないデザインを考えている。

(21)「年間10万人以上の入館者を予定していながら、駐車場は無いのか？」

一般駐車場はない。周辺のコイン駐車場等のマップ等で対応する。観光バスについては江戸博駐車場の借用や近隣の区有地を利用することを検討中である。バスストップ等の位置はこれから調整する。

(22)「地域の一時集合場所であるのに、防災備蓄倉庫は設置しないのか？」

設置の予定は無い。ただし震災時の帰宅困難者への開放等は考慮する。

(23)「事業計画の中で新たな文化創造とあるが、どのような意味か？」

年間12回程度の企画展示や講座室を活用したワークショップを開催し、広く文化歴史も学習できる施設とする。

(24)「展望ラウンジから周辺建物のプライバシーが見えるのでは？」

展望ラウンジは北斎通りやスカイツリーへの眺望を考え、周辺のマンション等は見えにくいように窓の位置を検討している。

(25)「美術館への団体客と緑町公園で遊ぶ子供達が交錯するのではないか？」

公園と美術館の間は植栽を検討している。入館者は歩道から美術館へアプローチするように考えている。

(26)「美術館来訪者と公園利用者が交錯することはむしろ望ましいのではな

いか。公園と一体利用と考えられるのではないか？」

6 閉会挨拶（渡辺課長）